今後の地域公共交通のあり方について

地域公共交通の充実は、市民の日常生活（買物、通院など）のために、利用しやすい移動手段を提供することであり、その結果として「暮らしやすい」、「人が集まりやすい」、「高齢者や障がい者も外出しやすい」まちづくりにつながるものです。

言いかえれば、「にぎわいのある」、「環境にやさしい」、そして「人と人とのふれあいのある」まちづくりのための「要」となるものが地域公共交通であり、少子高齢化による人口減少が進む中で、市内外から人を呼び込める、魅力あるまちづくりのため、望まれる地域公共交通を整備・改善していく必要があります。よって、東金市の置かれている現状を踏まえ、今後の地域公共交通のあり方について検討を行います。

１．本市人口の推移について

(1)地区別の人口動態

	東金地区（日吉台地区除く）	東金地区（**日吉台**地区）	**公平**地区	**丘山**地区	**大和**地区	**正気**地区	**豊成**地区	**福岡**地区	**源**地区	**合計**
人口(**H26**.4.1)	23,924	3,687	5,715	3,048	4,394	7,608	6,111	3,843	2,014	**60,344**
内65歳以上	5,243	702	1,569	882	914	1,949	1,610	1,008	574	**14,451**
高齢化率(%)	21.9	19.0	27.5	28.9	20.8	25.6	26.3	26.2	28.5	**23.9**
人口(**H16**.4.1)	22,810	3,263	6,252	3,218	4,318	8,044	6,701	4,224	2,366	**61,196**
内65歳以上	3,655	371	1,200	648	600	1,396	1,276	782	424	**10,352**
高齢化率(%)	16.0	11.4	19.2	20.1	13.9	17.4	19.0	18.5	17.9	**16.9**
人口増減 **H26**-**H16**	1,114	424	-537	-170	76	-436	-590	-381	-352	**-852**

(2)H25年度中の人口動態　①社会動態（転入－転出）　②自然動態（出生－死亡）　③その他（職権消除など）

	①社会動態			②自然動態			③その他	**全体の増減**
	転入	転出	**増減**	出生	死亡	**増減**		
東金市	3,196	3,008	**188**	434	553	-119	-117	-48
山武市	1,494	1,928	-434	281	731	-450	22	-862
大網白里市	1,832	1,812	20	290	531	-241	-45	-266
茂原市	3,136	3,088	48	583	986	-403	3	-352

２．人口動態より導き出された課題

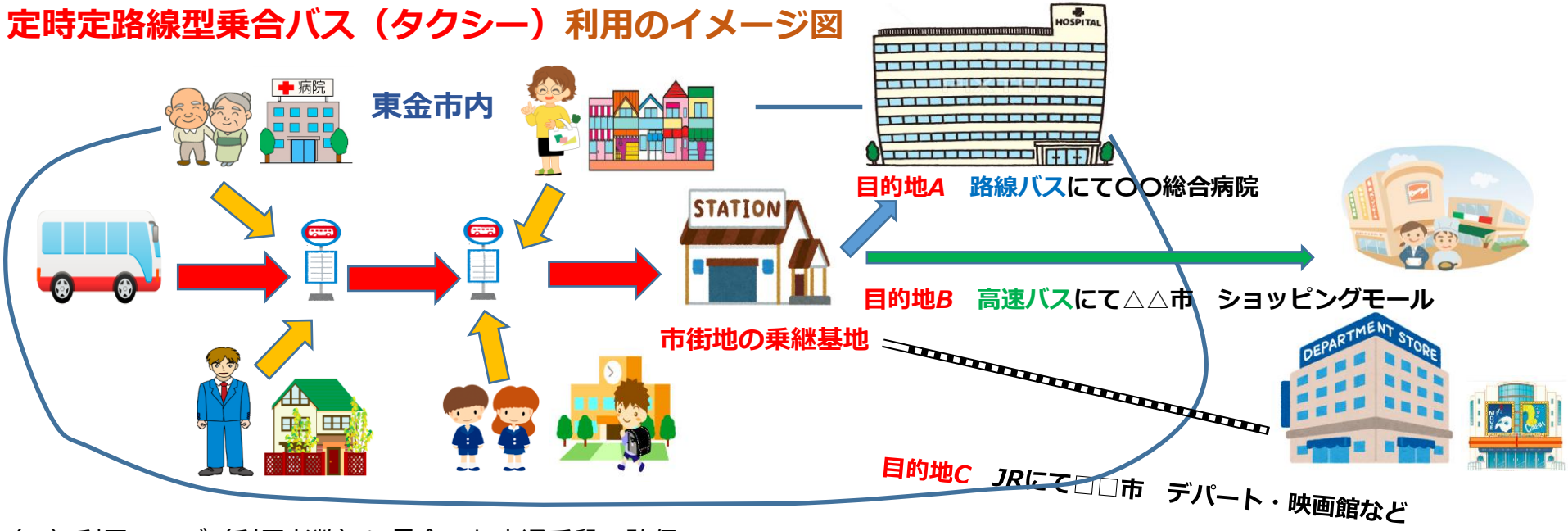
本市は県北東部で唯一社会動態の人口増が三ケタとなっており、全体の人口増減でも近隣他市ほど人口減少は顕著ではないものの、市内の状況としては市街地以外の人口の減少が進んでおり、かつ１０年前と比較し、高齢化が７ポイント上がっている状況

３．高齢化・過疎化に適応した地域公共交通のあり方の検討

（１）既存の公共交通の効率的な活用

「ＪＲ」や「路線バス」、「タクシー」等民間交通事業者が担っているエリアの補完を「市循環バス」、「デマンド型乗合タクシー」が行っているが、今後、民間公共交通を最大限活用するためには接続・乗継を重視した交通形態の検討も必要

《例》定時定路線型乗合バス（タクシー）の運行 → 市街地での乗継



（２）利用ニーズ（利用者数）に見合った交通手段の確保

高齢化の進行による「ケアタクシー」、「福祉有償運送（ふれあい移動サービス）」、「デマンド型乗合タクシー」の適正な利用促進

①自分で乗降可能な高齢者はできるだけ「デマンド型乗合タクシー」利用　②介護が必要な方の通院の方は「ケアタクシー」・「福祉有償運送」が対応

少子化の進行に応じたスクールバス等の運行

（就学前）児童・生徒の減少による移動手段の確保は地域への定住促進・子育て支援にも繋がることから利用ニーズに見合った移動手段が必要